

October 13, 2020

【前日の為替概況】米株高リスクオンでドル続落、ドル円 105.24 円、ポンドドル 1.3083 ドル

12日のニューヨーク外国為替市場でドル円は続落。終値は105.33円と前営業日NY終値(105.62円)と比べて29銭程度のドル安水準だった。週明けの早朝取引で一時105.85円と日通し高値を付けたあとはじり安の展開となった。市場では「ドル円は前週8日に106.10円を付けていったん戻りを確認した」との声が聞かれる中、ダウ平均が一時370ドル超上昇するとリスク・オンのドル売りが優勢となり105.24円と日通し安値を付けた。ロンドン引け(日本時間1時)後はコロンブスデーで米債券市場が休場だったこともあり、小幅な値動きに終始した。

ユーロドルは反落したものの、下値は堅かった。終値は1.1813ドルと前営業日NY終値(1.1826ドル)と比べて0.0013ドル程度のユーロ安水準だった。欧州各地で新型コロナウイルス感染が拡大する中、ポジション調整目的のユーロ売り・ドル買いが先行。21時前に一時1.1787ドルと日通し安値を更新した。ただ、米国株相場が堅調に推移するとリスク・オンのドル売りが優勢となり、一時1.1817ドル付近まで下げ渋った。NY午後に入ると米債券市場が休場で市場参加者が減少したため、次第に値動きが細った。

ユーロ円は反落。終値は124.40円と前営業日NY終値(124.93円)と比べて53銭程度のユーロ安水準。ドル円の下落につれた売りが優勢となり、一時本日安値となる124.29円まで値を下げた。

ポンドドルはしっかり。英国と欧州連合(EU)の将来関係を巡る交渉で、決裂は避けられるとの観測からポンド買いが優勢となり、一時1.3083ドルと9月8日以来約1カ月ぶりの高値を付けた。なお、英タイムズ紙は週末に「英国とEUの交渉担当者はジョンソン首相が期限とする15日までに自由貿易協定(FTA)締結交渉が妥結しない場合でも、『合意なき離脱』に伴う著しい混乱を避けるため、『ミニ合意』を目指して協議を続ける方針」と報じている。

ジョンソン英首相は、新型コロナウイルス感染が再拡大する中、一部地域でパブやバーなどを閉鎖する、段階的な制限措置を導入すると発表した。ただ、「全国的ロックダウン(都市封鎖)は望んでいない」と強調し、「自由を抑圧されることに対する市民の不満を理解している」と語った。

【本日の東京為替見通し】中国人民銀行の人民元基準値と中国9月貿易収支に要注目か

本日の東京外国為替市場のドル円は、ニューヨーク株高を受けたリスクオン地合いで軟調推移が予想される中、中国人民銀行の人民元基準値や中国の9月貿易収支に注目する展開が予想される。

ドル円のオーダー状況は、上値には、105.80円から106.00円にかけて断続的にドル売りオーダー、超えるとストップロス買いが控えている。下値には、105.00-20円に断続的にドル買いオーダー、105.20円には14日のNYカットオプション、105.00円には15・16日のNYカットオプションが控えており、底堅いイメージとなっている。

中国人民銀行は、9日にドル・人民元(オフショア)が6.6787元まで元高に推移したことで、10日に人民元高を抑制するために、12日から、「外貨リスク準備金率」を20%から0%へ引き下げる、と発表した。ドル・人民元(オフショア)は6.7566元まで元安に推移し、6.7449円で引けている。

中国人民銀行は、昨日、人民元取引の基準値となる「中間値」を1ドル=6.7126元に設定し、9日の基準値(6.7796元)からは0.0670元程度の元高・ドル安水準とした。中国人民銀行が人民元高を阻止したいのか、それとも、人民元高のスピード調整として休止を目論んでいるのか、本日の基準値に要注目となる。さらに、9月の中国の貿易収支、対米貿易黒字にも要注目となる。

新型コロナ景気対策法案に関しては、共和党(1.5兆ドルから1.8兆ドルへ増額)と民主党(2.4兆ドルから2.2兆ドルへ減額)による協議が続いており、トランプ米大統領とペロシ米下院議長の非難合戦の中、今週もムニューシン財務長官とペロシ下院議長が協議を行う、と報じられている。ムニューシン財務長官が金額を引き上げる可能性や航空会社と中小企業への支援案の合意への期待感が高まっており、ニューヨーク株式市場を押し上げている。

また、昨日12日から15日まで、トランプ大統領が最高裁判事に指名したシカゴ連邦高等裁判所で判事を務める保守派の女性判事エイミー・コニー・バレット氏に対する上院司法委員会での審議が行われるが、民主党は、大統領選の勝者が最高裁判事を指名することを米国民の大多数が望んでいる、と難色を示している。

【本日の重要指標】 ※時刻表示は日本時間

<国内>

○08:50 ◇ 9月マネーストック M2 (予想: 前年比 9.0%)

<海外>

○08:01 ◇ 9月英小売連合 (BRC) 小売売上高調査 (予想: 前年同月比 3.5%)

○未定 ◎ 9月中国貿易収支 (予想: 580.0億ドルの黒字、4195.0億元の黒字)

○15:00 ◎ 9月英雇用統計 (予想: 失業保険申請件数推移 8.00万件/失業率なし)

○15:00 ◎ 6-8月英失業率 (ILO方式、予想: 4.3%)

○15:00 ◎ 9月独消費者物価指数 (CPI) 改定値 (予想: 前月比▲0.2%/前年比▲0.2%)

○16:00 ◇ 8月トルコ鉱工業生産 (予想: 前月比横ばい)

○16:30 ◎ 9月スウェーデン CPI (予想: 前月比 0.3%/前年比 0.6%)

コア指数 (予想: 前月比 0.3%/前年比 0.6%)

○18:00 ◎ 10月独 ZEW 景況感指数 (予想: 74.0)

○18:00 ◎ 10月ユーロ圏 ZEW 景況感指数

○21:30 ☆ 9月米 CPI (予想: 前月比 0.2%/前年比 1.4%)

☆ エネルギーと食品を除くコア指数 (予想: 前月比 0.2%/前年比 1.8%)

○23:00 ◎ ベイリー英中銀 (BOE) 総裁、講演

○24:00 ◎ デコス・スペイン中銀総裁、講演

○14日 01:25 ◎ バーキン米リッチモンド連銀総裁、講演

○国際通貨基金 (IMF)、世界経済見通し公表

※「予想」は特に記載のない限り市場予想平均を表す。▲はマイナス。

※重要度、高は☆、中は◎、低◇とする。

※指標などの発表予定・時刻は予告なく変更になる場合がありますので、ご了承ください。

【前日までの要人発言】

12 日 11:11 范中国人民銀副総裁
「米中関係悪化が、中国金融ネットワーク向けハイテク
関連供給網のセキュリティ巡り多大なリスクをもたらして
いる」

12 日 15:35 ウッズ・イングランド銀行(英中銀、BOE)副
総裁
「効果的なマイナス金利に向けて金融セクターは運用上
の準備が必要」
「マイナス金利による銀行事業や顧客への影響が拡大
する可能性があることを再認識」

12 日 16:18 カステックス仏首相
「経済状況に基づいた増税の計画はない」
「新型コロナウイルスの感染がさらに悪化すれば、より
厳格な措置を講じる。ただ、企業にとって重要な部分や
学校は休業・休校としない」

12 日 17:58 シュナーベル欧州中央銀行(ECB)専務理
事
「復興ファンドを迅速に実行することが極めて重要」
「積極的な財政政策が物価安定をサポート」
「金融政策は依然として信頼できる源」

12 日 18:14 ショルツ独財務相
「我々は欧州での財政同盟に向けて動いている」

12 日 18:17 ラブロフ露外相
「アルメニアとアゼルバイジャンの紛争は続いている」

12 日 20:14 黒田日銀総裁
「資金需要と市場安定に焦点」
「必要なら躊躇なくあらゆる手段を講じる」

12 日 20:53 李克強・中国首相
「経済目標の達成には難しい努力が必要」

12 日 21:59 英首相報道官
「漁業や規則についての EU とのギャップを埋めたい」
「今週の合意に向けて精一杯取り組む」

12 日 23:43 ジョンソン英首相
「完全なロックダウンが必要とは思わない」
「完全なロックダウンは子供たちの教育を奪い、経済に

損害を与える」
「ロックダウン時よりも多くの方が新型コロナウイルスで
入院している」
「地域間のロックダウンは、ほとんどが高カテゴリーにな
る」

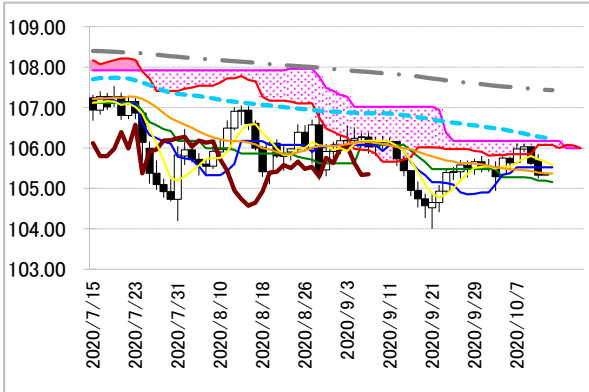
13 日 00:05 ハスケル英中銀金融政策委員会(MPC)委
員
「製造業がパンデミックで完全に破壊されるとは思わな
い」
「GDP がなぜ落胆するものになったか、より綿密に調べ
ないといけない」

13 日 00:20 デギンドス欧州中央銀行(ECB)副総裁
「ECB は新型コロナウイルス感染第 2 波のリスクを注意
深く監視している」
「パンデミック緊急購入プログラム(PEPP)の将来を決定
する時間はある」

13 日 01:30 ベイリー英中銀(BOE)総裁
「リスクはすべてダウンサイドだと思っている」
「(マイナス金利について)現時点では考えていない」

※時間は日本時間

〔日足一目均衡表分析〕

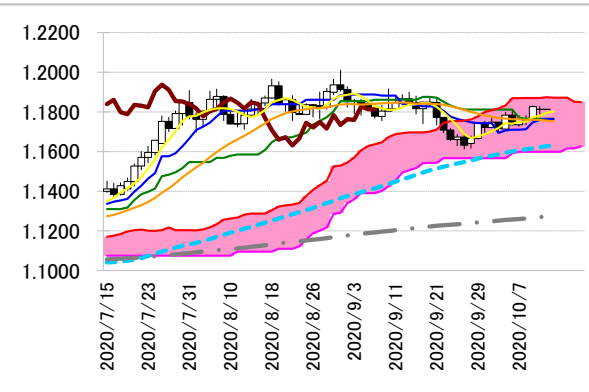


<ドル円=雲の下限を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を上回っているものの、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の下で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。雲の中で三川宵の明星的なパターンが示現し、2手連続陰線で転換線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、雲の下限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	106.08(日足一目均衡表・雲の下限)
前日終値	105.33
サポート1	104.94(10/2 安値)
サポート2	104.41(9/22 安値)

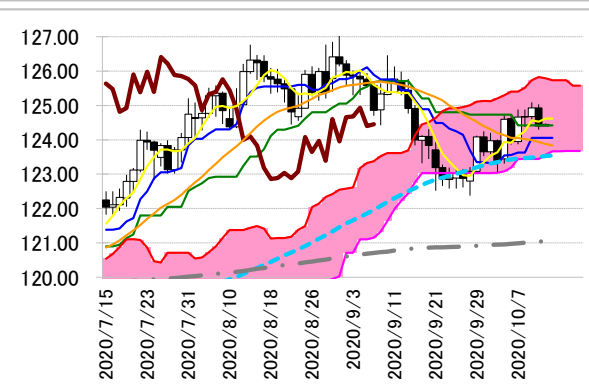


<ユーロドル=転換線を支持に押し目買いスタンス>

小陽線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の中で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。しかし、2手連続陽線で転換線を上回って引けていることで、続伸の可能性が示唆されている。

本日は、転換線を支持に押し目買いスタンスで臨み、同線を下抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	1.1874(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	1.1813
サポート1	1.1764(日足一目均衡表・転換線)

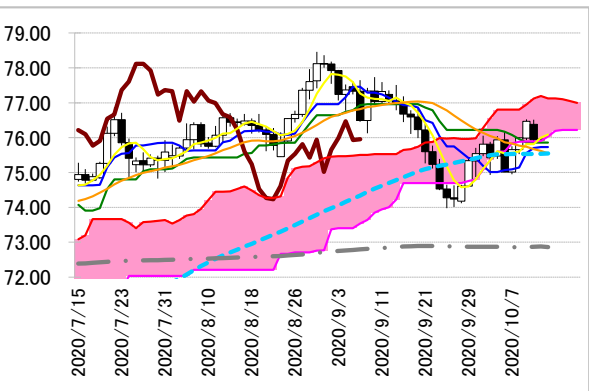


<ユーロ円=雲の上限を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の中で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。高値圏での抱き線で反落していることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、雲の上限を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同線を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	125.78(日足一目均衡表・雲の上限)
前日終値	124.40
サポート1	124.06(日足一目均衡表・転換線)



<豪ドル円=10/12 高値を抵抗に戻り売りスタンス>

陰線引け。一目・転換線は基準線を下回り、遅行スパンは実線を下回り、一目・雲の中で引けていることで、売りシグナルが優勢な展開となっている。基準線を下回って引けていることで、続落の可能性が示唆されている。

本日は、10月12日の高値を抵抗に戻り売りスタンスで臨み、同水準を上抜けた場合は手仕舞い。

レジスタンス1	76.52(10/12 高値)
前日終値	75.93
サポート1	74.95(10/7 安値)

